

平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18年 2月 8日

（コード番号：4208 東証第1部・福証）



上場会社名 **宇部興産株式会社**

(URL <http://www.ube.co.jp>)

代 表 者 代表取締役社長 田村 浩章
 問合せ先責任者 I R 広報部長 泉原 雅人 TEL (03) 5419 - 6110

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容)
 法人税等の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 (内容)
 詳細は添付資料「会計処理の方法の変更」に記載しております。
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 (内容)
 連結 (除外) 3社

2. 平成18年3月期 第3四半期の財務・業績の概況 (平成17年4月1日 ~ 平成17年12月31日)

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注) 金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期 第3四半期	433,541	3.9	30,609	48.4	25,916	107.6	12,774	97.8
17年3月期 第3四半期	417,110	12.0	20,631	68.3	12,482	68.2	6,457	65.1
(参考) 17年3月期	562,708	10.0	32,312	46.8	23,634	56.1	9,223	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期 第3四半期	13 59	12 73
17年3月期 第3四半期	7 19	6 62
(参考) 17年3月期	10 07	9 31

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期（平成17年4月1日から平成17年12月31日まで）の事業環境は、原燃料高や一昨夏場以降のIT・デジタル分野における市場調整の影響などによるマイナス要因がありましたが、アジア経済が好調を持続するとともにセメント内需が前年度比で増加基調に転じていること、更にはIT・デジタル市場の回復が本格化してきたことなどにより、総じて堅調に推移しました。このような状況下、当社の業績は前年同四半期に比べ増収、大幅増益となりました。

売上高は、修繕船事業の営業譲渡や米国アルミホイール製造会社の解散により機械・金属成形セグメントにおいて減収となりましたが、原料高や石炭購入価格の高騰を反映し、化成品・樹脂、エネルギー・環境の両セグメントで増収となった他、建設資材セグメント、機能品・ファインセグメントでも増収となったため、前年同四半期比164億円（3.9%）増の4,335億円となりました。

営業利益は、化成品・樹脂セグメントにおいて原料高に対する販売価格への転嫁が順調に進展したこと、機械・金属成形セグメントにおいて北米アルミホイール事業の損益が改善されたことなどにより、前年同四半期比99億円（48.4%）と大幅に増加し306億円となりました。

経常利益は、営業利益増に加え、受取配当金・支払利息等の金融収支及び持分法投資損益の改善等により前年同四半期比134億円（107.6%）増の259億円となりました。

四半期純利益につきましても、経常利益増により前年同四半期比63億円（97.8%）増の127億円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

① 化成品・樹脂セグメント

売上高は、ポリエチレン事業の分離・移管による減収があったものの、原料高を反映した製品価格の上昇等により、前年同四半期比57億円(4.7%)増の1,281億円となりました。

営業利益につきましては、良好な需給バランスを背景にスプレッド(製品と原料の値差)が改善したため、58億円(102.4%)増の114億円となりました。

② 機能品・ファインセグメント

売上高は、機能性材料がIT・デジタル市場の調整局面の影響を受けたものの、足下回復が本格化してきたこと等により、前年同四半期比25億円(4.1%)増の651億円となりました。

営業利益につきましては、中間期までのIT・デジタル市場調整の影響が残り、前年同四半期比4億円(5.7%)減の76億円となりました。

③ 建設資材セグメント

売上高は、資源リサイクル事業を営業品目化したことに伴い、セメント製造工程で処理する廃棄物の有償受入による収益を従来の費用控除から売上計上に会計処理を変更したこと、並びに生石灰関連製品やセメント内需が堅調であったことなどにより、前年同四半期比118億円(9.0%)増の1,432億円となりました。

営業利益につきましては、石炭等燃料価格上昇によるマイナス要因がありましたが、製品販売価格への一部転嫁、廃棄物処理拡大等によりカバーし、前年同四半期比3億円(5.2%)増の70億円となりました。

④ 機械・金属成形セグメント

売上高は、修繕船事業を昨年4月に営業譲渡したこと等による減収と、昨年3月の米国アルミホイール製造会社解散に伴う減収などにより、前年同四半期比83億円(10.6%)減の704億円となりました。

営業損益につきましては、前年同四半期は△18億円の損失でしたが、アルミホイール事業について米国製造会社の営業損失解消に加え、カナダ製造会社でも損益が改善したこと、機械事業についても宇部興産機械(株)の成形機売上高増による増益等により、42億円増益の24億円の黒字となりました。

⑤ エネルギー・環境セグメント

売上高は、石炭価格上昇等により前年同四半期比45億円(24.1%)増の235億円となりました。

営業利益につきましては、前年同四半期比、若干(0億円、5.8%)増の16億円となりました。

⑥ その他のセグメント

売上高、営業利益とも前年同四半期並みの、それぞれ29億円、4億円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年3月期 第3四半期	711,823	124,394	17.5	132	29
17年3月期 第3四半期	726,223	102,737	14.1	109	39
(参考) 17年3月期	706,686	108,383	15.3	115	30

〔財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期末の総資産は前期末に比べ、現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したため、流動資産が70億円増加し、また有形固定資産の減少等により固定資産が18億円減少した結果、差し引き51億円増加の7,118億円となりました。

負債については、転換社債の償還などにより有利子負債が207億円減少したことなどにより、112億円減少し、5,693億円となりました。

株主資本については、当四半期純利益127億円及びその他有価証券評価差額金が39億円増加したことなどにより、160億円増加し、1,243億円となりました。

【参考】平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通期	593,000	40,000	31,000	15,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 15円 85銭

平成17年10月17日に発表した業績予想数値を修正しております。

当該内容につきましては、本日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を発表しておりますので、ご参照下さい。

上記業績予想は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により予想と大きく異なる場合もありますことをご承知願います。

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3四半期末 (平成17年12月31日現在)		前期末 (平成17年3月31日現在)		増減 金 額	前第3四半期末 (平成16年12月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
		%		%			%
(資 産 の 部)							
I 流 動 資 産	282,450	39.7	275,421	39.0	7,029	290,379	40.0
現金及び預金	22,461		34,407		△ 11,946	44,534	
受取手形及び売掛金	147,965		135,666		12,299	140,395	
たな卸資産	90,129		79,901		10,228	81,373	
その他	21,895		25,447		△ 3,552	24,077	
II 固 定 資 産	429,360	60.3	431,243	61.0	△ 1,883	435,797	60.0
有形固定資産	353,475		360,787		△ 7,312	367,077	
無形固定資産	4,754		5,584		△ 830	5,681	
投資その他の資産	71,131		64,872		6,259	63,039	
III 繰 延 資 産	13	0.0	22	0.0	△ 9	47	0.0
資 産 合 計	711,823	100.0	706,686	100.0	5,137	726,223	100.0
(負 債 の 部)							
I 流 動 負 債	315,976	44.4	320,446	45.4	△ 4,470	355,254	48.9
支払手形及び買掛金	103,498		91,373		12,125	96,514	
短期借入金	147,385		149,712		△ 2,327	179,021	
一年以内に償還予定の社債	14,480		7,420		7,060	12,420	
一年以内に償還予定の転換社債	—		19,811		△ 19,811	19,811	
その他	50,613		52,130		△ 1,517	47,488	
II 固 定 負 債	253,391	35.6	260,161	36.8	△ 6,770	251,037	34.6
社 債	2,620		16,300		△ 13,680	16,500	
転 換 社 債	19,898		19,900		△ 2	19,908	
長 期 借 入 金	192,802		184,812		7,990	175,972	
退 職 給 付 引 当 金	10,476		11,280		△ 804	11,700	
その他	27,595		27,869		△ 274	26,957	
負 債 合 計	569,367	80.0	580,607	82.2	△ 11,240	606,291	83.5
(少 数 株 主 持 分)							
少 数 株 主 持 分	18,062	2.5	17,696	2.5	366	17,195	2.4
(資 本 の 部)							
I 資 本 金	48,565	6.8	48,565	6.9	—	48,565	6.7
II 資 本 剰 余 金	18,494	2.6	18,437	2.6	57	18,415	2.5
III 利 益 剰 余 金	49,466	6.9	38,589	5.4	10,877	35,803	4.9
IV 再 評 価 積 立 金	488	0.1	520	0.1	△ 32	533	0.1
V その他有価証券評価差額金	10,797	1.5	6,857	1.0	3,940	6,227	0.9
VI 為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 3,098	△ 0.4	△ 3,976	△ 0.6	878	△ 6,174	△ 0.9
VII 自 己 株 式	△ 318	0.0	△ 609	△ 0.1	291	△ 632	△ 0.1
資 本 合 計	124,394	17.5	108,383	15.3	16,011	102,737	14.1
負債、少数株主持分及び資本合計	711,823	100.0	706,686	100.0	5,137	726,223	100.0

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期	前第3四半期	増減	前期
		(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)		(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
売 上 高		433,541	417,110	16,431	562,708
売 上 原 価		347,127	339,120	8,007	453,250
売 上 総 利 益		86,414	77,990	8,424	109,458
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		55,805	57,359	△ 1,554	77,146
営 業 利 益		30,609	20,631	9,978	32,312
営 業 外 収 益		7,874	6,022	1,852	10,962
営 業 外 費 用		12,567	14,171	△ 1,604	19,640
経 常 利 益		25,916	12,482	13,434	23,634
特 別 利 益		400	1,490	△ 1,090	2,201
特 別 損 失		5,309	1,539	3,770	15,050
税金等調整前四半期(当期)純利益		21,007	12,433	8,574	10,785
法 人 税 等		7,649	5,639	2,010	639
少 数 株 主 利 益		△ 584	△ 337	△ 247	△ 923
四 半 期 (当 期) 純 利 益		12,774	6,457	6,317	9,223

会計処理の方法の変更

従来、セメント製造工程で処理する廃棄物の有償受入による収益から費用を控除した純額を「売上原価」から控除していましたが、資源リサイクル事業を収益事業と位置付け、営業品目化したことに伴い、当期よりセメント製造工程で処理する廃棄物の有償受入による収益は「売上高」に、費用は「売上原価」と「販売費及び一般管理費」に計上する処理に変更しました。この変更に伴い、従来の会計処理によった場合と比べ当第3四半期においては売上高が6,703百万円、売上原価が6,371百万円、販売費及び一般管理費が332百万円それぞれ増加していますが、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

事業の種類別セグメント情報

当第3四半期（自平成17年4月1日 至平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	化成品・ 樹脂	機能品・ ファイン	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギー・ 環境	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	128,120	65,192	143,263	70,417	23,584	2,965	433,541	—	433,541
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,367	122	2,778	585	6,024	739	15,615	(15,615)	—
計	133,487	65,314	146,041	71,002	29,608	3,704	449,156	(15,615)	433,541
営業費用	122,009	57,621	139,010	68,570	27,942	3,251	418,403	(15,471)	402,932
営業利益	11,478	7,693	7,031	2,432	1,666	453	30,753	(144)	30,609

前第3四半期（自平成16年4月1日 至平成16年12月31日）

（単位：百万円）

	化成品・ 樹脂	機能品・ ファイン	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギー・ 環境	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	122,347	62,604	131,437	78,808	19,007	2,907	417,110	—	417,110
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,818	523	2,438	748	6,878	746	16,151	(16,151)	—
計	127,165	63,127	133,875	79,556	25,885	3,653	433,261	(16,151)	417,110
営業費用	121,493	54,970	127,191	81,366	24,310	3,171	412,501	(16,022)	396,479
営業利益(営業損失)	5,672	8,157	6,684	(1,810)	1,575	482	20,760	(129)	20,631